



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 ビズメイツ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9345 URL <https://www.bizmates.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鈴木 伸明
問合せ先責任者 （役職名）経営戦略本部長 執行役員CFO （氏名）和田 学 TEL 03 (3526) 2640
半期報告書提出予定日 2026年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	1,671	△3.3	75	△33.6	71	△32.0	42	△38.8
2025年12月期中間期	1,728	3.8	113	△30.1	104	△23.9	70	△20.2

（注）包括利益 2026年12月期中間期 42百万円（△26.4％） 2025年12月期中間期 57百万円（△43.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	13.21	13.20
2025年12月期中間期	21.69	21.50

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」および「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	2,715	1,925	70.1
2025年12月期	2,675	1,909	71.3

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,902百万円 2025年12月期 1,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の第2四半期以前については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,688	5.7	298	5.5	290	8.1	205	4.4	63.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ヒップスターゲート 、 除外 1社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	3,249,604株	2025年12月期	3,248,104株
2026年12月期中間期	70株	2025年12月期	70株
2026年12月期中間期	3,248,730株	2025年12月期中間期	3,230,828株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

(注) 当社は、2025年10月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

当社の決算補足説明資料につきましては、2026年8月14日 (金) に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復傾向が続いたものの、原材料・エネルギー価格の高騰や為替の変動等により、先行き不透明な状況が続きました。個人消費におかれましては、インバウンド需要の底堅さや賃上げの影響により堅調に推移しました。

オンライン語学学習市場におきましては、企業の人的資本経営やグローバル人材育成に対する投資が定着し、企業研修や福利厚生としての法人向け需要は堅調に推移しました。一方、個人向けにおきましては、生成AIを活用したAI英会話・学習ツールの浸透に伴い、学習ニーズの多様化と競合激化が進んでおります。AI技術による利便性と人的指導による個別サポートを融合させた高付加価値なサービスの提供が求められるなど、市場の構造が変化してきております。

このような経済・市場環境の中、当社グループの主力事業であるオンラインビジネス英会話「Bizmates」、ビジネス特化型学習アプリ「Bizmates App」、コーチング「Bizmates Coaching」によるAIと人の強みを融合させたハイブリッド型学習体験を提供することで、より一層の認知度向上を目指すと共に、グローバル人材の採用・転職支援等を行うタレントソリューション事業との相互補完関係の強化を図り全社的な事業拡大を推進しております。

以上の結果、売上高は1,671,279千円（前年同期比3.3%減）、営業利益は75,529千円（前年同期比33.6%減）、経常利益は71,108千円（前年同期比32.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は42,909千円（前年同期比38.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

① ランゲージソリューション事業

主に、オンラインビジネス英会話、コーチング、ビジネス特化型学習アプリを組み合わせたハイブリッド型学習の訴求により、法人向けにつきましては順調に売上高を伸ばしました。一方、個人向けにつきましては、期首における受講者数が前年度を下回る水準から開始したことに加え、ストック型ビジネスの特性上、売上高は前年同期を下回る結果となりました。これらの結果、売上高は1,592,472千円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は443,344千円（前年同期比13.4%減）となりました。

② タレントソリューション事業

IT人材に対する求人需要は引き続き増加傾向にあるものの、生成AIの普及に伴い求められるスキル構造の変化が進んでおります。これにより、コーディング等を担う担当者層の採用基準は厳格化が進む一方、プロジェクトマネージャー（PM）や高度領域における専門人材に対する需要は依然として高い水準で推移し、売上高は78,806千円（前年同期比3.0%増）、セグメント損失は48,181千円（前年同期間はセグメント損失71,619千円）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は2,715,379千円となり、前連結会計年度末に比べ39,396千円増加いたしました。これは主に2026年6月30日に株式会社ヒップスターゲートを買収したことに伴い、のれんが増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は789,865千円となり、前連結会計年度末に比べ22,934千円増加いたしました。これは主に買掛金、未払金及び未払法人税等が増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,925,514千円となり、前連結会計年度末に比べ16,462千円増加いたしました。これは主に、非支配株主持分が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末より36,194千円減少し、1,651,980千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は160,065千円となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前中間純利益71,108千円及び減価償却費69,940千円の計上があった一方で、減少要因として未払消費税の減少25,603千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は118,976千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出39,734千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出77,597千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は76,248千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出28,055千円及び配当金の支払による支出48,616千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想については、2026年2月13日に公表しました「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,871	1,640,898
売掛金	37,998	50,562
商品及び製品	1,373	2,587
その他	121,732	93,153
流動資産合計	1,834,975	1,787,201
固定資産		
有形固定資産		
建物	297,203	296,977
減価償却累計額	△50,839	△60,289
建物(純額)	246,364	236,687
工具、器具及び備品	154,557	158,076
減価償却累計額	△86,974	△96,861
工具、器具及び備品(純額)	67,583	61,215
有形固定資産合計	313,947	297,903
無形固定資産		
ソフトウェア	401,100	396,139
ソフトウェア仮勘定	15,158	7,526
のれん	—	115,185
無形固定資産合計	416,258	518,851
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,727	20,559
敷金及び保証金	82,073	82,529
その他	—	8,335
投資その他の資産合計	110,801	111,423
固定資産合計	841,007	928,178
資産合計	2,675,982	2,715,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,139	33,666
未払金	211,815	231,196
1年内返済予定の長期借入金	53,332	58,228
未払法人税等	9,340	27,584
未払消費税等	56,456	32,252
契約負債	236,652	239,549
その他	11,801	16,375
流動負債合計	605,537	638,853
固定負債		
長期借入金	36,670	24,807
資産除去債務	110,223	110,981
退職給付に係る負債	14,499	15,223
固定負債合計	161,392	151,011
負債合計	766,930	789,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	132,872	133,193
資本剰余金	482,676	482,997
利益剰余金	1,263,582	1,257,771
自己株式	△63	△63
株主資本合計	1,879,068	1,873,898
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,750	26,578
退職給付に係る調整累計額	—	2,510
その他の包括利益累計額合計	29,750	29,089
新株予約権	217	—
非支配株主持分	14	22,526
純資産合計	1,909,051	1,925,514
負債純資産合計	2,675,982	2,715,379

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,728,303	1,671,279
売上原価	409,850	424,456
売上総利益	1,318,453	1,246,822
販売費及び一般管理費	1,204,684	1,171,292
営業利益	113,768	75,529
営業外収益		
受取利息	729	1,652
中途解約収入	42	38
雑収入	573	531
営業外収益合計	1,345	2,221
営業外費用		
支払利息	721	558
為替差損	8,732	5,288
その他	1,085	796
営業外費用合計	10,539	6,643
経常利益	104,574	71,108
税金等調整前中間純利益	104,574	71,108
法人税、住民税及び事業税	21,038	20,456
法人税等調整額	13,462	7,742
法人税等合計	34,500	28,198
中間純利益	70,074	42,909
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	70,073	42,909

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	70,074	42,909
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,646	△3,170
退職給付に係る調整額	—	2,510
その他の包括利益合計	△12,646	△659
中間包括利益	57,428	42,249
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	57,428	42,249
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	104,574	71,108
減価償却費	58,263	69,940
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,079	818
受取利息	△729	△1,652
支払利息	721	558
売上債権の増減額(△は増加)	4,235	908
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,740	1,286
前払費用の増減額(△は増加)	8,397	24,651
未払金の増減額(△は減少)	△74,845	308
未払費用の増減額(△は減少)	7,520	13,619
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,058	△25,603
契約負債の増減額(△は減少)	3,730	1,520
その他	△4,993	△1,515
小計	109,272	155,949
利息の受取額	729	1,652
利息の支払額	△721	△558
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△35,559	3,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,720	160,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,652	△1,645
無形固定資産の取得による支出	△85,530	△39,734
敷金及び保証金の回収による収入	77,117	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△77,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,065	△118,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,055	△28,055
株式の発行による収入	7,732	423
配当金の支払額	△48,032	△48,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,354	△76,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,987	△1,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△27,687	△36,194
現金及び現金同等物の期首残高	1,657,759	1,688,175
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,630,072	1,651,980

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランゲージ ソリューション 事業	タレント ソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,651,785	76,518	1,728,303	—	1,728,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,651,785	76,518	1,728,303	—	1,728,303
セグメント利益又は損失 (△)	511,934	△71,619	440,314	△326,545	113,768

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△326,545千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランゲージ ソリューション 事業	タレント ソリューション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,592,472	78,806	1,671,279	—	1,671,279
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,592,472	78,806	1,671,279	—	1,671,279
セグメント利益又は損失 (△)	443,344	△48,181	395,162	△319,633	75,529

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△319,633千円は各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「ランゲージソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社ヒップスターゲートを連結子会社としております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「ランゲージソリューション事業」において257,080千円増加しております。

また、当該事象によるのれんの増加額は、115,185千円であります。

なお、のれんの金額のうち、取得原価の配分が完了していないものにつきましては、暫定的に算定された金額であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。